

## 過去の過ち 仕事欲しさに賄賂を要求に 10 万円

個人でビデオ制作の仕事を始めた際、知り合いを通じて大手企業を紹介された。ビデオが完成し請求書を提出する段階で、担当者から「請求書を 10 万円高くして、その 10 万円をこちらに渡してほしい」と提案された。次の仕事が欲しかったため、その要求を受け入れ 10 万円を渡してしまった。しかしその後、再び仕事を依頼された際、最初からキックバックの話が持ち出されたことで、「このままでは自分がダメになる」と感じた。そしてその仕事を断り、二度とその会社と取引することはなかった。

## ChatGPT に聞いてみた

このエピソードは、「過ちを認め、そこから学び、正しい道を選び直す」という大切なテーマを含んでいます。以下のように、整理して描写することで、読者にも伝わりやすく、反省と成長が明確になります。

### 過去の過ち——仕事欲しさに賄賂を要求され、10 万円

個人でビデオ制作の仕事を始めたばかりの頃だった。知り合いを通じて、大手企業の仕事を紹介してもらえたことが、当時の自分には何よりもうれしかった。信頼を得るチャンスだと思い、全力で取り組んだ。

ビデオが完成し、請求書を提出しようとした時のこと。担当者は、静かにこう言った。

「請求書を 10 万円ほど上乘せして。その分、こちらに渡してほしい」

一瞬、耳を疑った。しかし、次の言葉がのしかかる。

「この仕事、またお願いするつもりなんだよね」

迷った末、私はその提案を受け入れてしまった。欲しかったのは「次の仕事」だった。そして実際に、10 万円を担当者に渡してしまった。

しばらくして、再びその企業から声がかかった。しかし、今度は最初から「今回も同じように頼むよ」と、キックバックの話が当然のように出された。

その瞬間、頭の中に警鐘が鳴った。

——このままでは、自分がダメになる。

金額の大小ではない。自分の信頼や、自分自身の仕事に対する誇りを、自ら壊し続けてしまうと気づいた。

私はその仕事を断り、その企業とは二度と取引しなかった。大きな決断だったが、今振り返れば、それが自分の「立ち直り」の第一歩だったと思う。